



写真:ミズナラ倒木から生えるシイタケ(撮影:平成28年9月27日)

「シイタケ」

シイタケ *Lentinula edodes* キシメジ科シイタケ属

世界的食用きのこ

秋といえばきのこ、きのここと
秋いえば秋。というくらいこの
季節を代表する存在のきのこ。
その中でも我々にとって最も馴染
み深いシイタケ。普段口にするも
のは、おがくずのブロックに菌を
打ち込み育てた「菌床栽培」のもの。
しかし元々は自然の中で発生する
野生のきのこです。霧島山のハイ
キングコース沿いでは主に秋から
春にかけて野生のシイタケに出会
うことができます。

我々にとって食料として大切な
役割を担っているシイタケですが、
自然界でもとても大切な役割があ
ります。シイタケの名前の由来は
「椎の木から生える茸」。シイ、カ
シ、ブナなどの枯れ木から発生す
る姿を見ることができますが、そ
の枯れ木の中ではシイタケの本体
である「菌糸」が枯れ木を分解吸収
し栄養を得ています。もしシイタ
ケなどのきのこがいなければ森の
中に枯れ木は残り、植物たちが新
たに芽を出す土もできません。分
解者として、生命のサイクルのカ
ギとなる重要な存在なのです。

(文)えびのエコミュージアムセンター



※ QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。